

静岡県内3地域の方言でヘルメット着用を呼びかけ

～静岡県警察本部などと合同で交通安全啓発活動を実施～

日本損害保険協会静岡損保会（会長：坂井 亮夫・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 静岡支店長）では、3月13日（水）に静岡県警に交通事故防止に資するチラシを2種類、合計10万部寄贈いたしました。県警本部で開催された寄贈式では、当協会中部支部の三村事務局長から、静岡県警察本部の加藤交通部長にチラシを寄贈し、同部長からは、「チラシを有効に使わせていただきたい」とのコメントがありました。その後、JR静岡駅北口地下広場「しずチカイベントスペース」で県警本部、地域部機動警ら鉄道警察隊、静岡中央警察署の方々と一緒に啓発活動を実施しました。

静岡県内における令和5年の人身交通事故発生件数は18,662件で、対前年比で16件減少したものの、高齢者の事故は7,165件となり、対前年比で469件増加しています。

当支部では、今後も静岡県警察本部等と連携して交通事故防止に取り組んでいきます。



静岡県警察本部加藤交通部長（左から2番目）



ヘルメット着用啓発チラシ



反射材着用啓発チラシ

